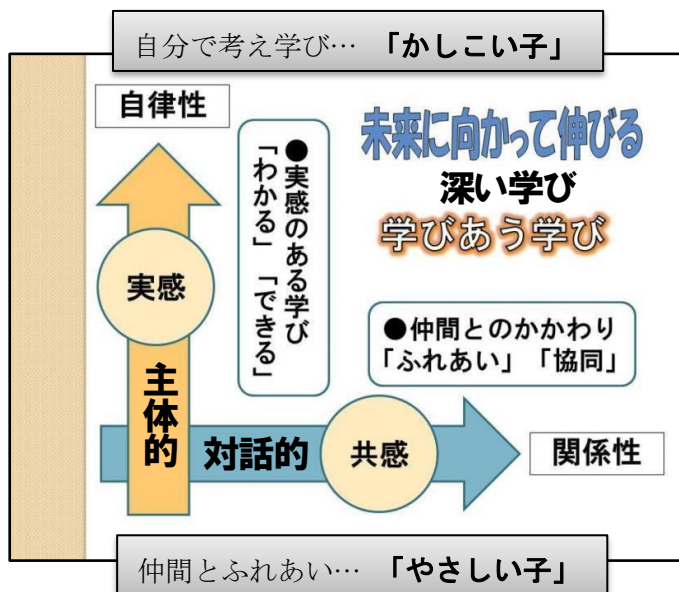


未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 9月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
平成29年9月1日発行 Vol.29-9
校長 橋本 和男

★伸びゆくチャレンジ6

新学習指導要領に対応する「学びあう」授業の創造



文部科学省は、平成32年度から小学校で完全実施となる新しい学習指導要領の公示をしました。来年度より、その実施に向けての移行期間になります。

具体的には、「道徳」が、特別の教科となります。心豊かな子供に成長するための教科として大切に実施していきたいと思えます。

また、「外国語科」が新設され、中学年は「外国語活動」、高学年は「外国語科」として授業が行われます。外国人英語講師（ALT）の指導を合わせて考えていきます。

こうした新しい教育課程実施への動きは、児童に身に付けさせたい「資質・能力」を明らかにして、成長に必要な授業づくりに向かっていく取り組みです。授業創造のキーワードは、「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」です。

学ぶことは、人に言われて「イヤイヤする」ものではありません。自分から進んで「わかること」「できること」を増やしていくことが学びです。文科省は、その資質・能力を「学びに向かう力・人間性」と言っています。アクティブという意味は、「能動性」です。授業では、一人ひとりが内に持っている能動性を引き出していきたくと考えています。左上の図は、本校の学校教育目標実現の構造図です。仲間と対話を深めながら（やさしい子）、主体的な学びができる（かしこい子）を育てていきます。

この新学習指導要領に関する情報は、これからの学校だよりでも、取り組みをお伝えしていきます。



ペットボトルのキャップをみんなで集めてリサイクル ……

「エコキャップ運動」を広げよう！

ザ・アイランズ自治会の子供たちから、たくさんのキャップをいただきました！

エコキャップ運動

ペットボトルのフタを集めよう！

- 夏祭り会場で回収します。たくさん集めて持って来よう！
- フタは洗って来てください。洗っていないものは回収できません。

エコキャップ運動について

・ペットボトルのフタを回収することで、リサイクルの促進やCO₂の削減、発展途上国へのワクチンの寄付などを行うものです。

・マンションで集めたフタは鶴嶺小学校さんに協力いただき、エコキャップ運動を推進している事業者に送っていただきます。

鶴嶺小学校では、平成23年度から児童会の環境委員会の児童が「エコキャップ運動」に取り組んでいます。家庭で飲んだ飲料水のペットボトルのキャップを集めて、毎年、エコキャップ推進協会に届けています。昨年度に集めたキャップは、29,627個で、6年間累計の数はなんと、376,760個にもなっています。

このキャップは、再生プラスチック原料として売られ、そのお金は、世界の子供たちの医療支援・ワクチン支援や障害者支援、教育に役立っています。ペットボトルのキャップもゴミとして出せば焼却されてしまいます。一人ひとりの小さなエコアクションの頑張りによって、これだけ人の幸せのためにつながっていくのですね。

7/30に開催されたザ・アイランズ夏祭りでも、本校の子供たちがエコキャップを集めてくれました。本当によく集めてくれました。その取り組みを8/31の朝会で紹介しました。エコキャップは、環境委員会の児童に渡します。これからも、みなさんで運動を広げていきましょう。